

# 第344回 甲佐初市



●大井手川沿いを中心に、春の彩りあふれた花苗の露天商などが並んだ市街地会場。  
●初市名物の「五郎飴」。懐かしい味を求めて多くの人で賑わう。●商工会女性部による「だんご汁販売」や「手作り作品展示」など、催しも多数開催。●甲佐小体育館で開催された「第3回初市子ども相撲大会」。熱戦に、会場は大興奮。



甲佐に春の訪れを告げる  
長い伝統の祭りが開催

3月9日（金）・10日（土）岩下・緑町の市街地ほかで、第344回甲佐初市が開催されました。

春の伝統の祭りは、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催。町、甲佐町観光協会、町教育委員会、甲佐町文化協会、甲佐町青少年健全育成町民会議の後援。

市街地の会場には、苗木や花苗、庭木などを扱う露天商が並んで大売出し。植木組合や地元各商店など、合わせて約40店が催し物に参加。春の花々の彩りが大井出川沿いに所狭しと並び、活気に満ちた春の到来となりました。

初市のにぎわいと味わいで活気に満ちた催し物

主な催し物として、商工会青年部による「つきたてもち販売」、甲南通り繁栄会による「いわしの大安売り!」、下通り共栄会婦人部による「手づくりカリント・ドーナツ販売」、商工会女性部による「だんご汁販売」などが開催。訪れた人は、初市のにぎわいと味わいを楽しみました。

また、商店街の特売や協賛セールなども併せて開催され、露天商の出店と共に多くの人出で活気づきました。甲佐初市の名物「五郎飴」の店先は、春の風物詩である懐かしい味



を求めて、子どもから高齢者まで多くの人でにぎわいました。  
花苗などを購入した70代の女性は、「毎年、初市に来ると、甲佐町にもようやく春が来たと実感します。今日は、庭に植える苗を買うのを楽しみにして来ました」と笑顔で話しました。

## 文化の薫る作品展や子ども相撲大会も盛況

商工会女性部と文化協会は、旧大滝商店店舗内などで、「手作り作品の趣味のギャラリー」や、文化協会参加団体による「作品展示会」などを開催しました。

春を彩る「さげもん」やひな人形、パッチワークなどの趣味の作品や、児童たちの書道や生け花、本町の四季や行事をテーマにした風景写真などを展示。会場を訪れた人々は、心を込めて作られて展示されている作品を、ゆっくりと鑑賞しました。

熊本市から来場した50代の女性は、「趣味とは思えないほど、丁寧に作られた作品ばかりですね」と感想を述べました。

甲佐小体育館では、「第3回初市子ども相撲大会」が開催されました。会場には特設の相撲場が準備され、町内の小学生が多数参加。相撲のルールなどを受講し、四股（しこ）などで準備体操をした後、競技が開始。土俵上での熱戦の連続に、会場は大きな声援に包まれました。